



地層処分研究開発・評価委員会

資料4-8 (H19. 11. 27)

セーフティケースに関わる 背景情報のマネジメント

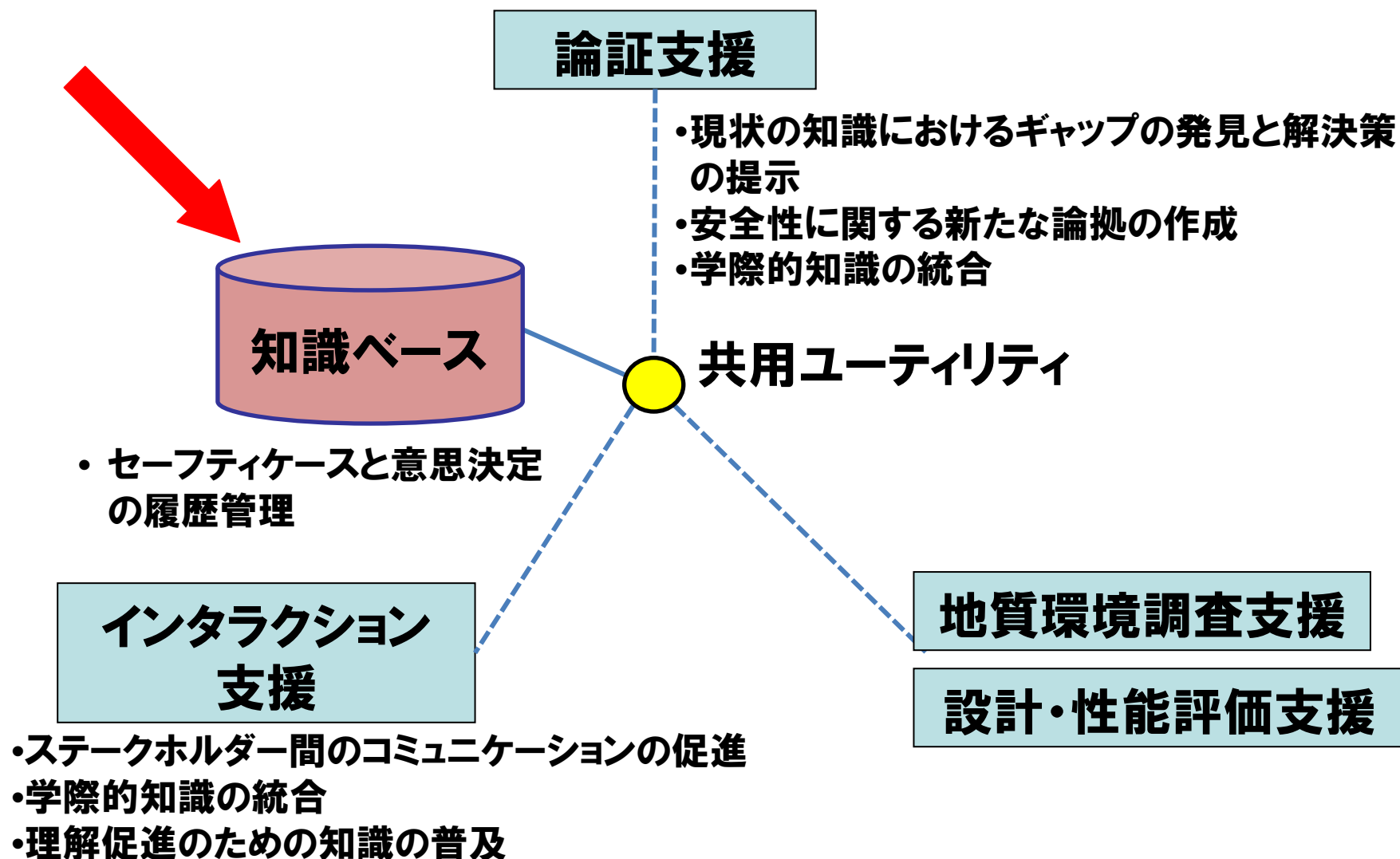
平成19年11月27日

独立行政法人日本原子力研究開発機構

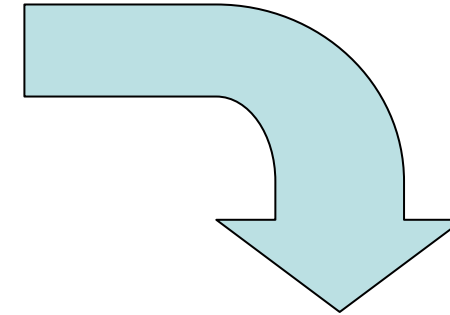
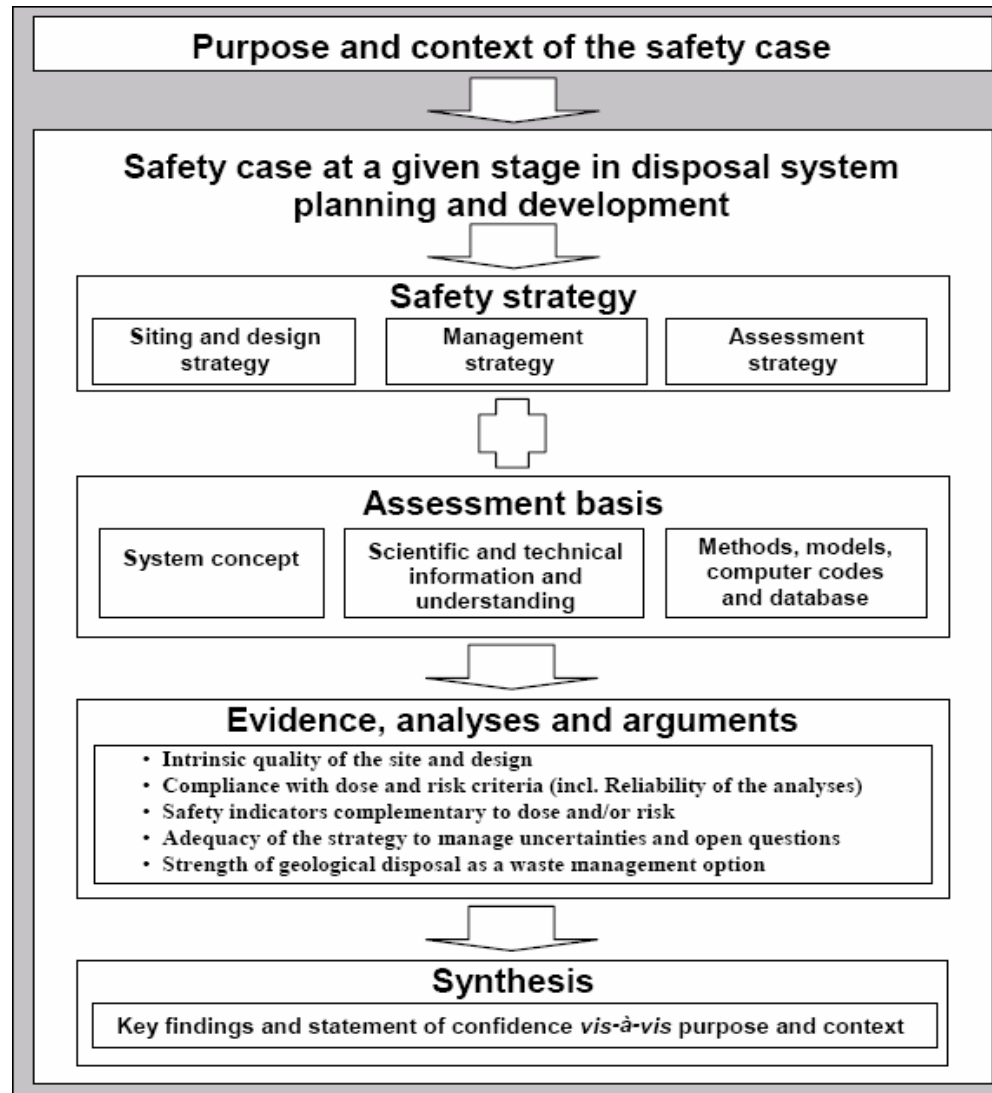
地層処分研究開発部門

知識化グループ

日置 一雅



セーフティケースの要素と相互関係



SCを作る上で
考慮すべき情報:

- 主要な概念の形成過程
- わが国の地層処分の歴史

など

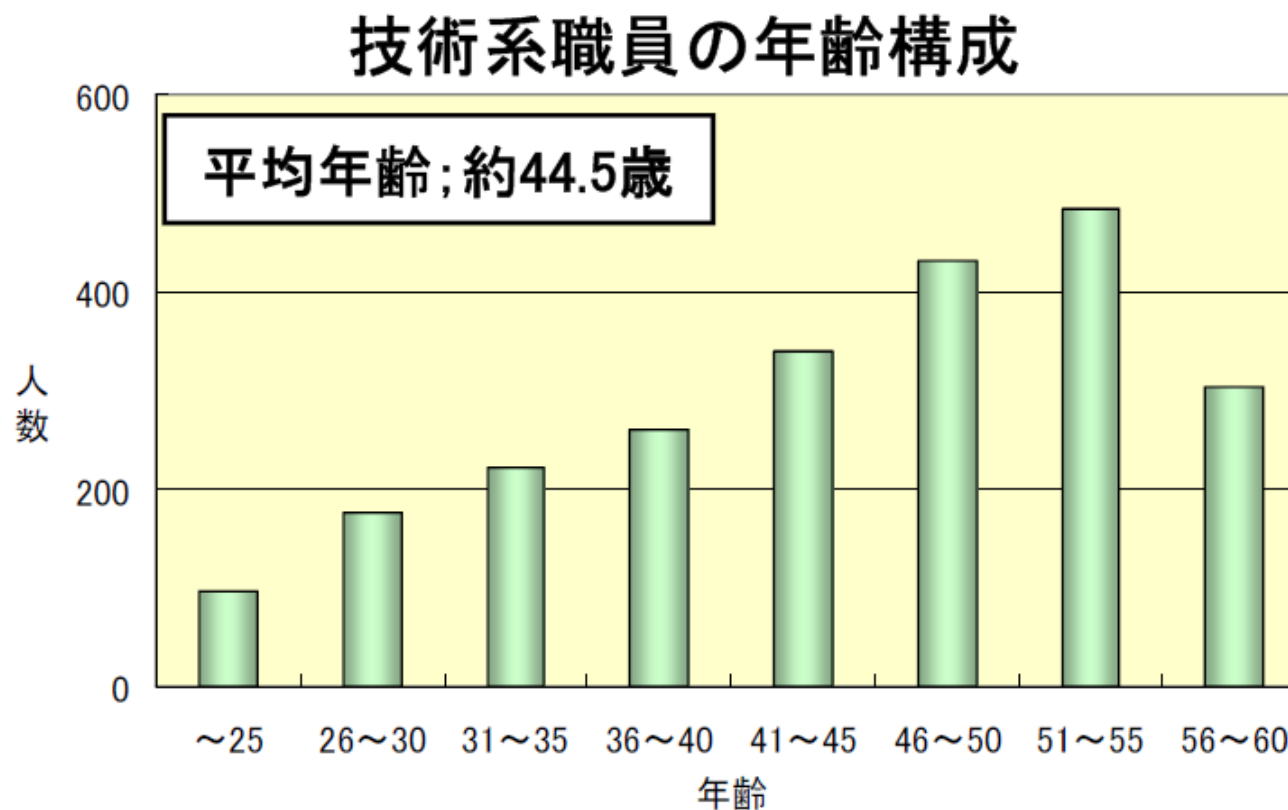
- 主要な概念、考え方、原則 の形成過程
 - Stepwise Approach 段階的アプローチ
 - Reversibility & Retrievability 可逆性と回収可能性
 - Safety Assessment & Safety Case
 - Human Intrusion 人間侵入
 - Institutional Control 制度的管理
 - Monitoring モニタリング
 - など



主要な概念の形成過程

- 現在の結論（少なくとも専門家間のコンセンサス）はわかってても、その形成経緯がわからない。
- 一連の国際会議等 のproceedings
 - IAEA
 - OECD/NEA
 - ICRP
- フォーラムや研究成果報告会における質疑応答を時系列に整理

2007年問題 ― 団塊の世代の定年退職





わが国の地層処分の歴史

方法:

- 経験者(賢者)にインタビュー
- 賢者2人の自由対談も効果的

参考:

- Pigford博士の回顧録(387ページ！)
- BE部会20周年記念特集
- 第2次取りまとめ 背景レポート



わが国の地層処分の歴史

課題：

- 有能なinterviewerでなければ、賢者から知識を引き出せない。
- インタビュー結果のまとめかた

スケジュール：

- 平成20年度～平成21年度